

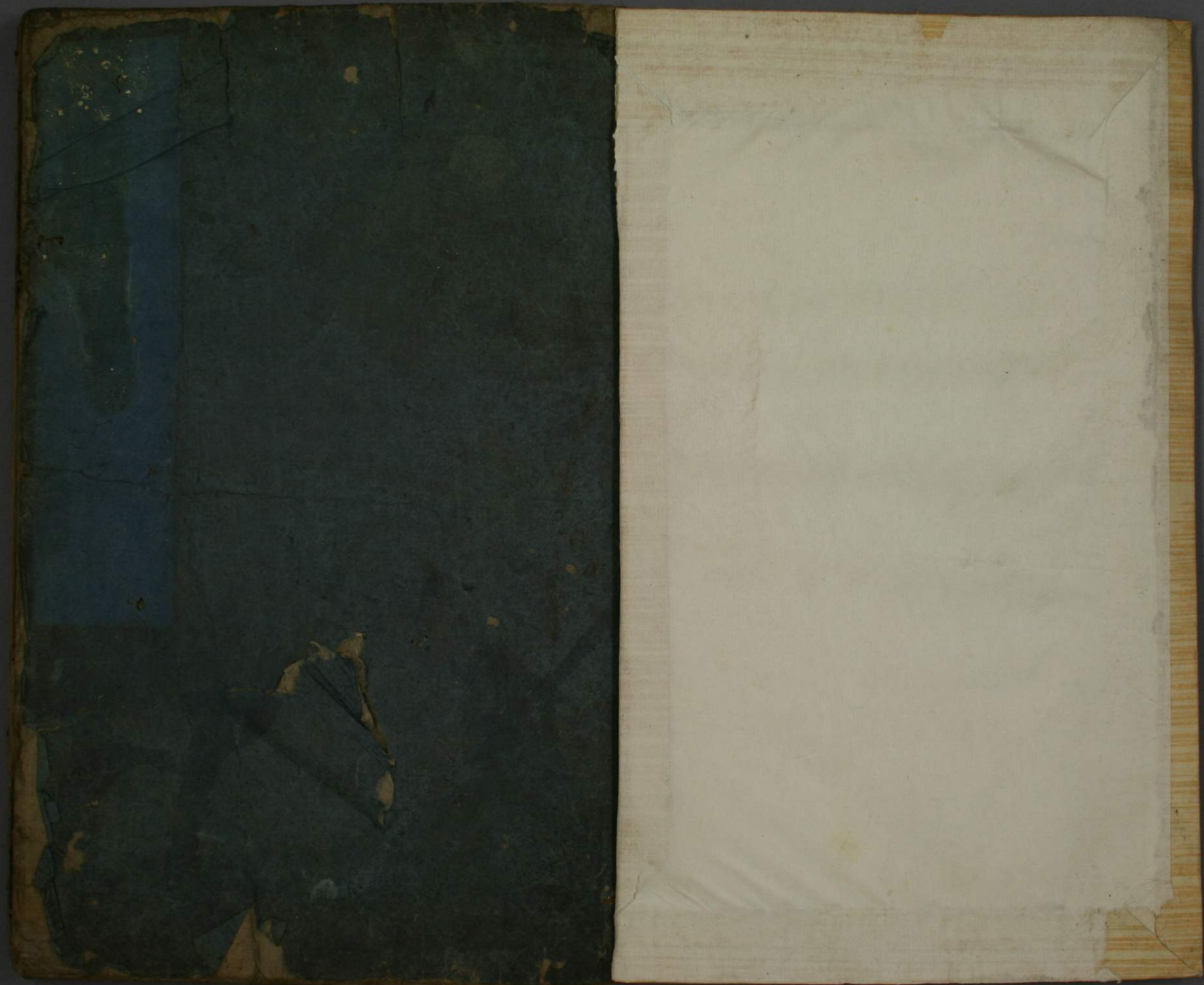


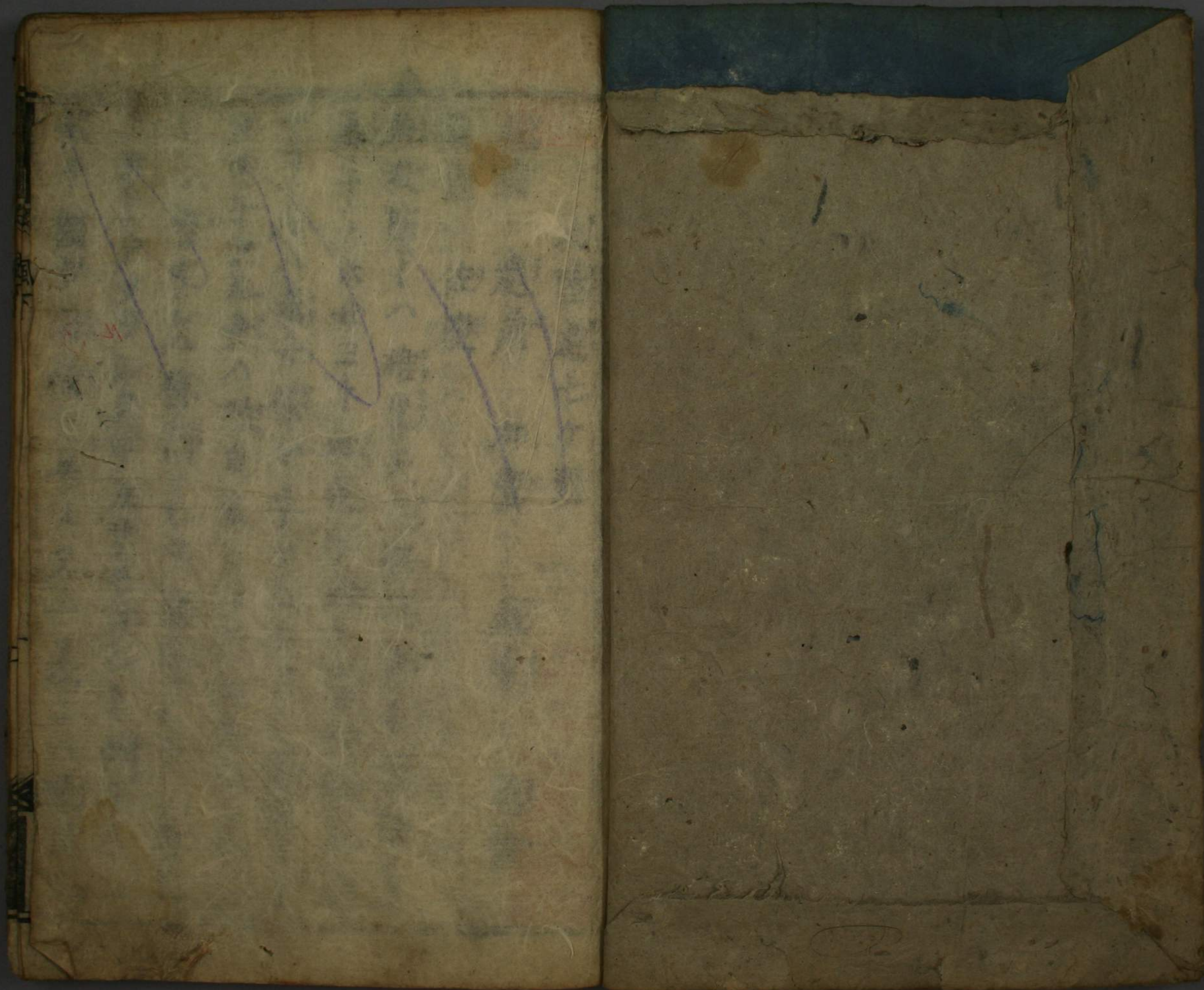
日本國名風土記



ル 3
1109
2









○北陸道七ヶ國

行山史庫

若狹

越前

加賀

越中

越後

能登 佐渡

若狹國トハ雄畧天王御時美女諸國ヨリ

尋テノホセヨト勅使下向ス或形姿不足

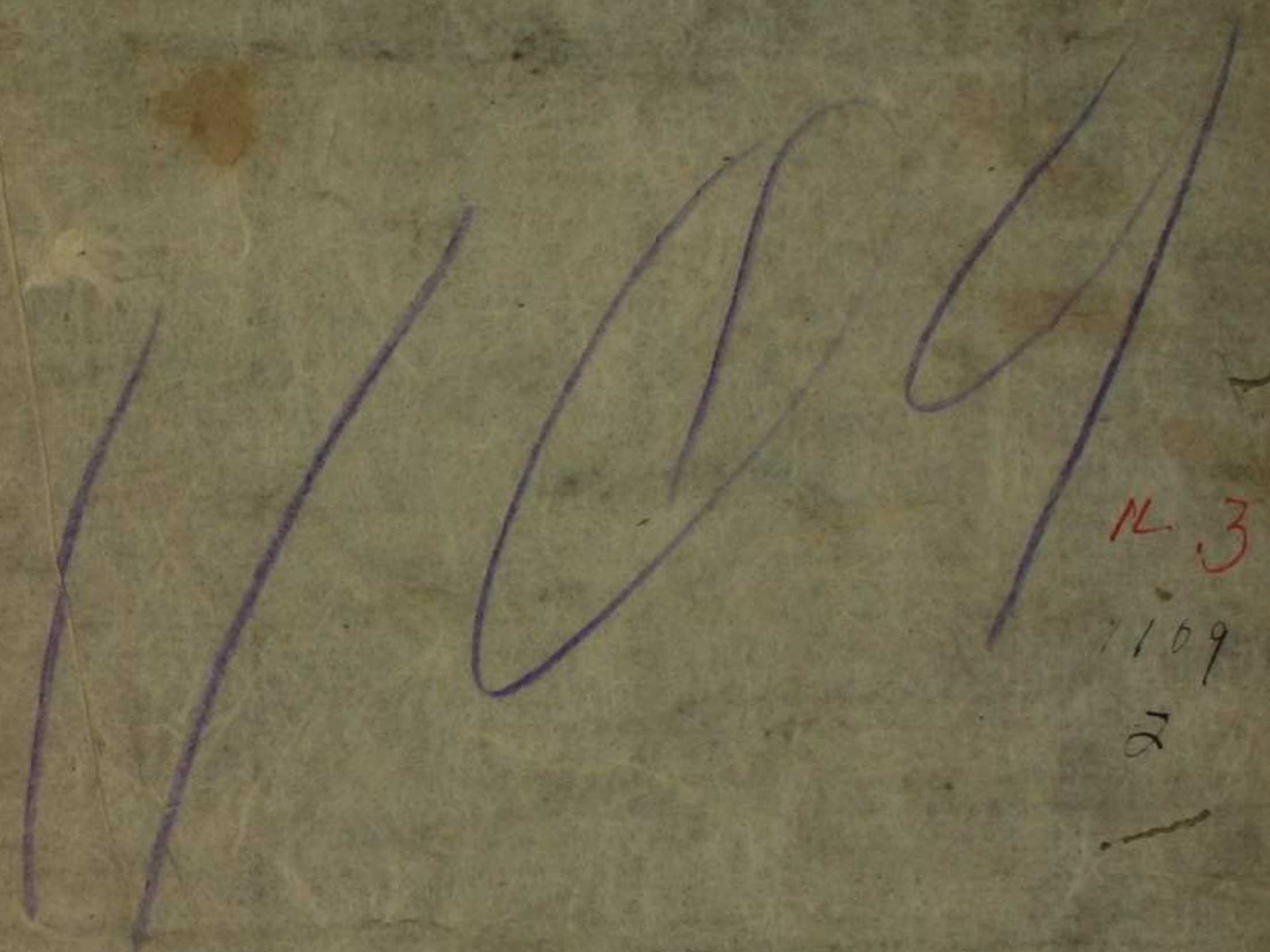
ナリ或ハ老女様々キラヒ玉フニ彼國ヨリ

タテマツル女ハ形良モウツクニク年ノヨハ

イモ吉ケレハ御門コレヲ御覽シテノ玉フハ

カタチウツクニクワカサモヨシト仰ラルニ

依テ國ヲ若狹ト号ス又一義ニハ龍宮城



ル 3
1109
マ
一

ヨリ男女二人若クヨリ來テ多年住居シ
ケリシカシ氏不老イツモ十八計ナリ見ル
人皆不思議ニシモイイツモ見ルニ汝ノ若
サヨト云ケルソレヨリコノ國ヲ若狹トモ云
ナリカノ男女二人ナカラ死シコノ人ナクシテ
後ニ神トナリ上下ノ宮ト号ス若狹ノ一宮
ト申是上下ハ夫妻ナリ
越前越中越後者神武天皇元年二月日本ノ
國見ントテ御下向アツテ神武天皇ノ大内
大和國畝大山ノ戌亥ノ地ナリ柏原ノ宮也

ソレヨリ山城近江ヲ經テ荒血山ヲ越玉ヲ
都ノホカ北陸道へ越ハシメ給フ山ナレバ
前へ越ルトコロヲ越前ト号ス次ニ利並山
ノ中コロ越ルトコロヲハ越中ト号ス後ニ越
トコロヲ越後ト号ス是等ヲ三越路ト号ス
シカレハ景行天王ノ御代カノ通路山嶮ノ峯
ノ川武多シテ國々ノ使ノ煩有シ故ニ越前
國ノウチ江浪ノ郡高松郡ナトラワケテ
江沼國ト号ス日本武尊諸國ヲ廻リノ時
荒血山ヲ越テ北陸道ヲ下リ給フニ尊ノ

兄大雄皇子ヲモハク北陸道ハ難處ナリ尊
ノ勢スコシニシテハサタメテ夷等ニヲトサレ
ナントテ數万ノ軍兵ヲ引卒シテカノ江
沼國ニテ追付タテミツルニ尊ヨロコヒ給テ
コトナルコトナレ一ノ賀ナリ御方ノ御勢
加ル二ノ賀ナリトテ賀ト云ナリ賀ヲ加ヘ
タリト仰セケルコヘ江沼ヲアラタメテ加
賀ト号スルナリ

能門國ト者コノ國ハ西ハ越前東ハ越中ノ
間ニシテハルカノ海中ニシテ指イテタル
國ナリレカルニ北國上下往來ノ舟氏此國
ヲ泊リ宿トス故ニ能キ門トナリ海上
ナル塩合ノ名ナリレカレハ能門ナリトテ能
門國ト号ス其ヲ今ハ登ノ字ヲカクナリ
佐渡ト者都ヨリコノ國ヲ東へ下ニカノ國
ハ左ナリ然ニ海舟爰左ニシテ渡リ行國ナ
レハ佐渡ト号ス今ハ佐ノ字ニカク也

○南海道六ヶ國

紀伊 淡路 阿波 讚岐 伊豫 土佐
紀伊國ト者本來ノ國ト書ク孝灵天王ノ

御代ニ熊野權現來ノ國塩崎ト云トコロニ
ウツラセ玉フ其上キ老翁老女二人ノ者
ヲ引ツラ子テイリ玉フトキニ土民向テ云
汝等ハ何ナル人ソ老翁ノ答テ云我ハ奇異
ノ人ニ誘引セラレテ是ニ來ト云其ヨリコ
トコロヲ紀伊ノ國ト号スレカレニ紀ノ一字
ニソ足ヌスヘシケレ氏伊ノ字ヲ加ルハキト
イト連邑ノ五音ニ依テ云ツラナルナリ又
カノ翁ハ紀穀藏ノ先祖ナリ熊野權現ノ御
名覽ナリ

淡路トハ伊弉諾尊大海原サクリ給レ鉾
ノ滴リ混堅テ一國トナレリ伊弉諾尊コレ
ヲ覽初メアハチヨト仰セララル、ニ依テアワ
チト号ス其ヲ淡路トカクトハ鉾ノ滴淡
堅ルユヘナリトハ浪ノ上ニ六道ナレシカルニ浪
上ニ墜イテハジマルナリ故ニ路ノ字ヲ書ナリ
路ハ陸ニアルガユヘナリ次四國トハ伊弉諾
伊弉冊ノ命淡路國ニ下リテ居給テ一女
三男ヲ生ミ玉フ先ツ小國ヲ作り四人ノ
尊ヲ居ヘ奉ルトコロナリ

阿波者 蛭子ノ宮ノ御座國ナリ蛭子トハ
手足モナク目鼻モナク骨モナク出入息
計ナリケイキアワト見ヘ給キレカレハコ
尊御座國ナレバ阿波ト号スルナリ
讚岐國ト者 天照太神ノ御初衣カヘ玉ヲ
故云余也 別ノ御コロモニ服アラタメ玉ヲ
ヨリ産云詞ヲアケタテマツリコノ讚ノ字
ヨ三ニヨツテ讚岐トカキテ是ヨリ横句ノ
連色ナルヨ三ナルユヘナリ
伊予國ト者カナカキナリ 斐ニ彫神ノ

マレマス國ナリカノ國 月神ノ光リ日神ニ
モヲトリ玉ワストキ 諸神達ホメタテマツ
テ日神ニヲトリ玉ハヌイヨク光明ナリト
ノ玉ヘハ依テ其國ヲ伊予ト號ス本
字ハイヨクトカク今伊予トカクナリ
土佐國トハ素盞盞烏尊マレマス國ナリニ
男ハコ、ロトク武器量モ兄ノ尊達ニハ勝
タリ時神達尊ヲ奉ル譽彼尊心ノ利サハ兄ノ
尊達ニハ勝玉フト仰セアリレユヘニソノ國ヲトサ
ト号ス土佐トハカナカキナリ 俊ハ早ク利武クナリ

○ 山陽道八ヶ國

是ヲ山陽道トハ山ノ陽ト云義也又中国氏云也

幡摩

美作

備前

備中

備後

安藝

周防

長門

幡摩國トハ神宮皇后ノ御トキ夷國為

征討攝津難波浦ニテ御舟ヲツクラセ

玉フソノトキ舟ヲ大海ニイタサンタメ態

江堀ヲホラセラル爰ヲ難波ノ堀江ト号

スカノ浦ヨリ舟ヲタテ室ノ泊ニ著キ給キ

御ウラノ玉木ヲワスレサセ玉ヒテ御舟

ヲ又難波津ニ豊還ス依之彼ウラヲ

大韃氏号ス大トハ國王ノ玉木ナレハ敬

ヘリ韃ハ玉木ノ名ナリ次ニ大韃ノ御津

トハ尊ノ御舟ノ泊リナリ故ニ申ナリ

又カノ津ヲ三津云其故ハ敷津高津

難波津是ヲ加テ号スルナリ左テ又カノ

御舟イタサントスルニ霖雨慕風連日ヤミ

サリケリサレ厄有ル日ノ晴間ニ御舟ヲ

ラレイダレテ的涯ト云トコロニ著キ玉フ

霖雨ノハレマニ爰ニ御渡給シトコロナルユ

ヘニカノトコロヲ晴間ノ國ト号スレカルニ

ハレヲハリト登^{カク}コトハ堅^{タカ}ノ一^ツ句^ク相通^ツナル
カ^クニナリ又^ハ幡^ハ摩^マト云^ハハ皇^{ミコ}后^ノコノトキ
武^ム庫^ク藏^{ゾウ}ニシ^テ御^ミ幡^ハノ手^テヲ開^{ヒラ}キ上^ノサセ給^ル
コ^トニ其^ノ才^チニ應^{オウ}レテ云^ハナリ

義^ミ作^サ國^カトハ天^ム武^ム天^ノ皇^{ミコ}ハ天^チ智^チ天^ノ皇^{ミコ}ノ御^ミ
弟^テナリ大^{オホ}友^{トモ}ノ王^ワ子^シハ天^チ智^チノ御^ミ子^シナリ又^ハ
天^ム武^ムノ后^{キサキ}ハ大^{オホ}友^{トモ}ノ王^ワ子^シノ御^ミ姊^{イモエ}宮^{ミヤ}ニシテ
マ^レシ^テス御^ミ息^シ處^{トコロ}ニ成^{ナリ}玉^{タマ}ヲテ後^{ノチ}持^チ統^{トウ}天^ノ王^{ミコ}
ト申^マタテマツルトキニ天^チ智^チノ御^ミ子^シ大^{オホ}友^{トモ}
ニハクライヲスグニ讓^{ユカリ}リ王^{ミコ}ハス御^ミ賀^カ弟^テノ

天^ム武^ムニ代^{トコロ}ヲ讓^{ユカリ}給^ルテ崩^{ホウ}御^ミ成^ナル然^{シカ}ルアヒタ
大^{オホ}友^{トモ}ノ王^ワ子^シ吾^ガレコソ代^{トコロ}ヲタ、シクハ持^{モツ}へキ
者^{モノ}ナレ凡^{ソド}御^ミ伯^{ハク}父^フ天^ム武^ム天^ノ王^{ミコ}ヲ奉^{ホウ}レ打^{ウチ}レ給^ルニ
天^ム武^ムノ后^{キサキ}コノコトヲキコシメレ御^ミ弟^テ大^{オホ}友^{トモ}ノ
謀^{マコ}叛^{ハン}ヲ發^{ハツ}シ給^ルフ由^ユヲ大^{オホ}ナル堅^{カタ}田^タ鯉^イノ中^{ナカ}ニ
カクシヲサメ天^ム武^ム天^ノ王^{ミコ}ニツカイ告^{ツゲ}レラセ玉^{タマ}
フニ依^ヨテアチコチニ隱^{カク}レ行^{ユク}キ玉^{タマ}ヒケルトキ
彼^{カノ}國^{クニ}ハ隱^{カク}家^ガ多^タキトコロト聞^キ召^メレテ彼^{カノ}處^{トコロ}
ノ山^{サン}中^{ナカ}ニ迷^{マヨ}入^イツ疲^{ツカ}レニ臨^{リン}ゾミ玉^{タマ}フトキ有^{アル}
山^{サン}賊^{ソク}ノ旧^{キウ}家^カニ立^タヨラセ玉^{タマ}へハ老^{ラウ}翁^ウ老^{ラウ}女^{ニョ}有^{アル}テ

折節酒ヲ造ケルホトニ義其間ナル酒ヲ
義ナカラソナヘタテツルニ天武天王御感
有テカラ計表其酒ヲ作ケル事カナト仰
ケルニ依其處ヲ義作ト云ナリ三トハ實
ウシト云義ナリ然ルヲ義シト云文字計
ヲ義トヨムコトハ義ヨミナリサカトハ酒
ナリカトケトハ相通一句大凡カユヘナリ依
テ作ノ文字ヲカキナラフナリ
備前備中備後ハ神宮皇后難波津ヨリ
幡摩國ヲ過牛窓ノ津へ着玉ヘルトキ

其トコロノ長イリテ、ツ貢御ヲ備ヘタ
テマツル次又備フ故前へニ貢御ヲ備タル
處ヲ備前ト号ス次備トコロヲ備中ト
云其右備ヘルトコロヲ備後ト号ス其ヨ
リ打ツレテ貢御ヲ備ヘ奉ル餘リシケカ
リシトキニ、ウハヤ貢御ニ飽タリト仰有
シ處ヲ安藝國ト号ス是ハカナカキナリサ
テ其トキ御舟備後國ヲ過サセ給レトキ
御鞆舟中ニ有リケルガ御舟ノトモヘトビ
上リケレハソノトキカノ鞆ハ夷國へ越トテ

コソ有ラントテ御舟ヲヨセ玉ヒ依其處ヲ
鞆ノ津ト号スナリ

周防國トハ昔カノ國ノ海浦浪風荒フソ

イサゴヲク打アゲイソ山ト成テ後ハ左右

無ク浦風モアタラサル程ナリサレハ其名

ヲ沼防國ト云其ヲ周防トカクコトハ一國

海邊連テ浪ノウツニ似テハニ周ノ字ヲ用

タリ本字ハ沼防トカクナリ

長門國トハ山陰道ノ龍王ノ中ニ赤目

トテ眼ノ赤魚龍アリ大龍王アリ勅使ニ

山ノ陽海ヘユクコトアリ然ルニ爰ヨリ奥ノ

國ヲ廻レハ海路ハルカナルヘキユヘニ直ニ國

ノ中ヲ蹴破テ水ヲ通シ佐テコソ通りケ

リカルガユヘニ其處ヲ赤目國ト云ソレヨリ

カノ處舟着ナリヨキマト定メ赤間津ト

号ス赤間カ関ト云トコロ是ナリ然ハ赤

目氏書ナリ彼赤目ノ魚龍此處ヲ南海

ナレハウラクマテ佳吉カルヘシトツイニ彼

浦廻門ニ佳ケリコノ赤目命ノ長キ物住

サカヘル門ナレハトテ其處ヲ長門國ト号

又爰ニ赤門ト云ントキモ目ノ字ヲカクヘ
シマシテ豎ノ相通同句ナルユヘナリ

○山陰道八ヶ國

丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆

出雲 石見 隱岐

丹波國者篠村ノ東大江山ノ西麓大ナル
池アリ昔彼池大蛇アリテ近邊行來ノ人
ヲ多ク害シ食ス或トキ優ナルイキ、マレノ
女皮池鱒ヲ通リケルニ大蛇是ヲ見付テ則
飲ケリ依彼女ノ夫忽ニカノ池叫入ル大蛇

又出合テ此男ヲ吞タリ男腹中ニテ刀
ヲ以大地ノ五腑ヲ寸々ニ切割ク大蛇コラ
ヘズニテ大血ヲ啣間カノ男生ナカラ啣出
サレタリ然ニ其池ノ水紅ニシ土マテモ赤ク成
荒波ヲタ、ヘタリ去間カノトコロヲ丹波國
ト号スカノ池ノ山ノ際ヲ大江ナ云ソコナル
江マテ血ノ波立滿タリ彼男ノ郎徒氏主ノ
男ハ蛇ノ口ヨリ血ニ染テ啣イタサレナガラ
狸々ノ面ノ如ク飯リケルカ有野中ニテ行
アヌテ郎徒其主ニ向テ何クニ行玉フゾヤ

ト問へハ主此由ヲレカクト語リ聞せケリ
即徒氏云ケルハサレ氏御身生テ別ナシ
ト云此トコロヲ生野ト名ツケタリ

丹後國トハカノ國ノ後ナルユヘニ云ナリ
又日本國ノ体ハ南ハ前北ハ後ナル故ニ
丹後ト云ナリ

但馬國トハ昔應神天王ノ御代ニ高麗
國ヨリ初テ馬ヲ献スル然トモ是ヲ飼へ
キ様ヲ不知山ニ放タルニ依テ彼山ヲ生
馬山ト号ス又其後高麗ヨリ人渡テ申

岩石峯海邊塩風當處放置飼へハ駿

馬ト成テ吉ト申ス依テサアリヌヘキトコロ
尋ルニコノ國ノ海峯ニカ、ル處ヲ求得テ馬
ヲ追放ゾ其後子氏ヲク生ケレハ馬ノ三
コノ國ニ充滿シケリ故ニ多馬ノ國ト号ス
又其ヲ立馬ト云コトハ允恭天王ノ子木曾
ハ季ハ皇輕ルノ王子餘リニ物悪クミレニレ
ケレハ打奉ントテ宣旨ヲ下サル依大盛皇
子是ヲ襲輕ノ王子逃テ多馬國到給ニ御馬
痛テ不行故ニ立馬國ト云也彼馬ヲ捨給

テアユニ三行ヲチサセ給トテ皇子ノ御言
多クノ處ニテ落行ヘキナリ但シ馬無ノ歩
行ナリ凡敵ノナキ處ヘタニモ行ナハト仰有シ
ニ依テ其ヲ因幡ノ國ト号スナリ

伯耆國トハ地神手摩乳足摩乳ノ娘ハ八
頭大蛇ニ飲レントスルニ依テ彼ノ稻田姫山
深逃テ遠處行トテ姫ノ詞ニ父御聞御座
有ヘシ不然者計女人ノ御身トシ其方ニ居
玉ヲ大蛇ニ飲レ給トヨ母ハ來給ヘヨト呼ブ
處ヲ母來ノ國ト号伯耆トハカナカキナリ

出雲國トハ彼大蛇スニシトコロ常ニ八重
雲ノ立シ故ニ出雲ノ國ト号ナリ手摩乳
栖シ處手摩関ト云ナリ又云出雲國ニ御
母サクサト云處アリ伊勢諾伊勢册ノ御
座ストコロナリ其間ニ稻田姫ノ宮ハ重垣
ノ明神アリ其前ニ小川アリ夫レヲヒノ河ト
云ナリ其上ヲ八戸ノ坂ト云ナリ又洲凡夫
レヨリ龍出ルナリ

石見國トハコノ國ニハ高角山岩崎山十二山
ナト云テ何モ高名山ニテノ國モ三上渡サルニ

依テ石見國ト号ス彼岩山モハルカノ奥ニア
リシヲ赤目ノ龍蹴破テノチハ海中ニ岩計
處々ニタツテ見ヘル故ニコソ石見ト云ナリ
隱岐國者昔石見方遠ク陸地連テ奥中
マテ有ケリ其後魚龍ノ王赤目長門ノ國
通トテ山岳ヲ蹴破シ時陸地連テ一島ト
成故ニ沖ノ國ト号ス今ハカナカキナリ
○西海道九ヶ國 九州鎮西云又筑紫云也
筑前 筑後 豊前 豊後 肥前
肥後 日向 大隅 薩摩

二島 壹岐 對馬也

筑前筑後肥前肥後日向國ハ崇神天王ノ
御代ニ夷國征討ノタメ發向トテ紀伊國ヨ
リ御舟ヲラシイタシテ筑紫ノ地ヲ指漕渡
至フニ海上出日暮レ夜ニ入峯遠山邊更ニ
ミヘズホトリヲシラサルユヘ舳舻前後ヲ失フ
トキニ左ノ後ニアタリテ星ノ如ナル火ノ光
リ見ヘ又前ヘノ舳舻ニ當リ大ナル火并テ見
ヘケレハ尊梶取ニ向ノ玉ク彼ハ何火ゾヤ
船頭申サクシラサル火ナリ爰ニ知ヌ人ノ

火ニアラス依レラヌ火ノツクシト御舟其
方ヲワタルニ難風俄ニ吹キキタツテ御舟
ヲ磯ニ吹付リシカラハ左右へ押イタスナリ
漕渡ニ又荒磯ニ吹付タリ依前ニ御舟着
トコロヲ筑前ト号ス後ニ付タル處ヲ筑後ト
云ツクチク同レツトチト相通一句ナルユハ
ナリ又御舟押浮テ彼ノ火ノ見ヘレトコロヲハ
代懸ニ漕付依前ニ火ノ見シ方ハ火前ト号
ス後火ノ見シ處ヲ火後ト号スレカルヲ後ニ
火ノ字ヲ改テ肥ノ字ニカクナリ又御舟ノ

面ニ火ヲ向漕シ方ヲ火向ト云レヲ後ニ
火ノ字ヲアラタメテ日ノ字ニカクナリ其故
カノ國ハ本向ノ國ニテ日ニ向故日向ノ國ト
云ナリサテ御舟カノ浦ニ付テ御覽スルニ
三人ノ翁有テコノ火ヲ燒天皇汝ハ何ナル
者ソト御尋アルニ翁答テ申サク我是伊
弉諾伊弉册命晩宿リ給トキ上津瀬ニ
手洗ト言ノ沼神ト成玉ヒテ又東國ニ
有諏訪大明神是ナリ中津瀬ニテ給處
奥沼神ト成テ又東國ニ有ル麻島大明神

コシナリ下津瀬ニテ洗給トコロノ長沼
神ト成給テ住吉一皇子是ナリカノ三兄
弟上筒雄中筒雄底筒雄ト号ス吾身ハ
兄也云云天皇言ク汝等ノ助ニ依我命全
キコトヲ得タリノ弥天顔近付テ皇基ヲ守
ルヘシト詔給フ依槽原ヨリ攝津國ニ迂リ
海岸ニ著タラフ則住吉トテ鎮座シ給フ
サテ住吉ノ郡ト号シ社ハ件ノ三翁ナリ
四宮三輪ノ明神ナリ住吉四所ト号ス又
明神住吉ヘ迂給シトキ日比受給トコロ

ノ藤ヲ海ニ取淨テ彼寄タラン所ヲ我
社ト領スヘシト誓給カノ藤付タル所ヲ藤津
藤崎藤代ナト云皆住吉社領ナリ然レ
藤代ハ紀穀藏是也我灵ノ領トテ接津國熊
崎ト云トコロニ立代ヘリ藤代其處ナレハ
トテ藤代ト号ス又彼藤代替地ヲハ熊崎ト
云ナリサレハ藤代ハ熊野ノ社領ナリ攝津
國熊崎ノ里ハ住吉ノ社領也クマサキハ本
クマ野領也次ニ住吉ノ明神本ハ日向領
座シ給シ間ソノ本意忌レ玉ハテ今モ

向ニ御社ヲ造給ヘルナリ又住吉四所
明神ノ内一社ハ玉津嶋ノ明神ニテ和哥
ノニ尊ト示現シ玉フナリ

豊前豊後國トハ崇神天王彼國ニ大内ヲ
建テ給依之民家富貴セリ國中豊ナリ

然凡コノ國ハ便宜悪キ様ナレハトテ都ヲ
西ヘ引テ建ラルユヘニ前ニ宮造セシトユロ

豊前ト云後ニ宮造シ處ヲ豊後國ト号
又大内ノ宮ヲ豊津ノ宮ト申ナリ

大隅國トハ三角ニ鳴崎アリカルカユヘニ

大角ト号ス角與隅同字ナリ

薩摩國トハ昔地神ノ代ニ早人ノ神通
リシ時カノ國ヲ颯ト蹴割テ直クニ其間

ヲ通ラント云シヨリ今ハ颯間廻門ト云テ
廣五六十町長百餘町ナル口有ナリ

壹岐國トハ彼早人神颯間ヲ蹴割通テ
海路ヲ遠ク行タルトコロナリカルカユヘニ

行キノ國ト云ヲカナカキニ壹岐ト云ナリ
次問云九州ヲ筑紫ト号スル莫イカン答

テ曰尅恭天王ノ御代ニ異國ヨリ日本

紫ヲタテマツル依紫付島ト云レカルニ紫
生野ト云ナリ山城國ニヲナレ各アリ又
鎮西ハカノ國ニテ昔異國ヲ防シナリ日
本ト高麗トハ云ニ敵國ナリ依之高麗國
ノ乱ヲ防キ鎮西ナリ日本記風土記曰
悉敵鎮ル兵筑ト云ナリ鎮ハレヅムル
ヨムナリ西トハ新羅高麗百濟コノ三ヶ
國ハ日本國ノ西ニアタルユヘナリ

大 都ヲウツサレシ事

神武以來四十二度都ウツスナリ其次
第神武ヨリ景行ニテ十二代ハ大和國都
ヲタテ他國ヘハウツリ玉ハス柏原ノ郡リ
ニ立ラルナリ
成務元年近江國志賀ノ郡ニ都ヲ立テ
玉フナリ
仲哀天王二年ニ長門豊浦ノ郡ニ都ヲ
立テ玉フナリ
應神天王大和國岩根雅櫻宮住玉フ也
神宮皇后ヲナレ州輕嶋昭宮住玉フナリ

仁徳天王元年ニ攝津國難波ニウツリ高
津ニ宮住シ玉フナリ
及正天王二年河内國ウツテ紫籜宮住
シ玉フナリ
允恭天王和州ニウツテ飛島ノ郡ニ宮住
シ玉フナリ
雄略天王尤五年ニ同州泊瀬朝倉宮ニ
住玉フナリ
繼体五年ニ山城綴喜ウツテ十二年其
後乙國宮ニウツス

宣化天王元年大和國ニウツテ郡々都
ヲ立テ他國ハウツリ玉ハス
孝徳天王大化五年攝津國長良ニ遷テ
豐嶋宮住シ玉フナリ
齊明天王大和國田本宮ニ住玉フ是ヲ
清原ト申也
持統天王文武二代藤原宮住シ玉フナリ
元明元正聖武孝謙廢帝稱徳光仁
七代奈良ニ立テ玉フナリ
桓武天王正暦二年十月二日奈良春日

壬午 2月



里ヨリ長岡京ウツテ十年シテ正月大
 納言藤原ヲ小黒麻呂京佐美ノ大僧都
 玄珠等ヲツカイテ當葛野郡宇多村ヲ
 見セラルル四神相應ノ地也ト申ス依テ
 爰ヲ爰宕ノ郡ニ御座延曆十三年十一
 月廿一日長岳京ヨリ京へ遷テ帝王三十
 代星霜三百八十年也蓋謂六十院八十
 代高倉院時兵庫福原二京有ル也云云

風土記下終

寛文五乙巳孟春吉日

御幸町通誓願寺前下町

西脇七良右衛門板行

河村氏

里ヨリ長岡京ウツテ十年シテ正月大
納言藤原ヲ小黒麻呂京佐羨ノ大僧都
玄珠等ヲツカイテ當葛野郡宇多村ヲ
見セラルル四神相應ノ地也ト申ス依テ
爰ヲ爰宕ノ郡ニ御座延曆十三年十一
月廿一日長岳京ヨリ京へ遷テ帝王三十
代星霜三百八十年也蓋謂六十院八十
代高倉院時兵庫福原ニ京有ル也云云

風土記下終

御幸町通誓願寺前下町

寛文五乙巳孟春吉日

西脇七良右衛門板行

河村氏



